

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 1 1 0
平成 20 年 1 月 17 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

調べ学習でのインターネット(3)

インターネットで調べることのメリット・デメリットがわかった上で、確かな情報、役に立つ情報が見つかったら、それを活用します。

このとき気をつけたいことは何でしょうか。

インターネット上にある情報は、必ず誰かがインターネット上に公開したものです。つまり、公開した人がいるわけで、その情報は「公開した人のもの」です。

これには、二つの意味があります。

一つは、公開した人の意図が含まれているという意味です。

同じことを表現するにも、人によって書き方、見せ方はまちまちです。また、同じ情報でも、そのことについて、どういった面を伝えたいのか、全てではなく、伝えたくないことが省略されているかもしれない、と思うことも大切です。

いくつかのインターネット上の情報や、他の調べ方、たとえば図書館で書籍を調べるとか、実際に現地で取材してみる、など他の情報と比較してみることも必要です。同じことについて、人によって感じ方、受け取り方は異なっているからです。

もう一つは、著作権と言われる「公開した人」の持つ権利のこと。

「著作物」について、それを自由にできるのは、作った人だけ、というのが著作権です。自由にできる、とは、複製・配布・公開・譲渡・改変などを言います。インターネット上の情報を、自分のパソコンに取り込む(コピーする)のは、複製に当たりますから、厳密に言えば著作権者の許可が必要です。

大まかに言えば、引用と授業については、著作権者の許可を必要としない場合が多く、常識的には、著作権者の利益を侵害しないことが条件です。

(それぞれ、言葉の意味には厳密な定義がありますが、ここでは割愛します。No.23参照)

インターネット上の情報は、新しい、という一方で、いつ変更されるかわからない、という性質も併せて持っています。引用に際しては、出典と日時を明らかにしておくことも大切です。出典については、アドレス(URL)を控えておきますが、どういう検索で見つけたか、また、ページのタイトルを覚えておくと、もう一度見たいときにすぐ見つけることができますので、こういう情報も書き取っておきましょう。